

第16号西宮・三宮お掃除だより

12月
西宮掃除に学ぶ会

第205回西宮掃除に学ぶ会が快晴のもと西宮神社で13名のメンバーが集まり行われました。平成最後の12月みなさんいつもより心のこもった姿勢で取組んで頂きました。7月に200回大会を終え新たなメンバーさんも加わり来年に向かって確かな歩みを感じます。平成最後の師走の掃除に学ぶ会みなさんご苦労様でした。

前代表世話人 佐藤弘一

鍵山秀三郎先生の言葉



中身はいくらでも
変えられる。

◆第205回 西宮神社 正門側 トイレ掃除

12月16日(日)13名の方に参加いただき、西宮神社でお掃除行いました。リーダー堀、サブリーダー若江さんで男子トイレを掃除しました。



<体験感想>

村上 秀樹 さん

初めて掃除の会に参加させていただきありがとうございました。藤本喜子さんからのご紹介で参加させていただきました。自身と向き合いながら掃除をさせていただく中で、2つの自分を見つけることができました。1つは、何故このやり方で掃除をしないといけないんやなど素直に受け止められない自分です。自分のトイレ掃除のやり方、こだわりがあり文句を言っている自分です。素直が大切だとわかっているのにいざその場になると我が出ている自分です。2つ目は外面ばかりを綺麗に見せようとする自分です。内面をもっと磨かなければいけないと感じさせていただきました。普段見えない自分に気づくことが出来たことに感謝しております。今回気づいたことを実践して参ります。そしてまた機会があればぜひ参加させていただきたいと思っております。貴重な体験をありがとうございました。

米谷 佳寿之 さん

昨年3月18日初めてお掃除に学ぶ会に参加させて頂き、その後、数カ月に1度参加させて頂いております。30分便器を素手で磨き続ける事で、私は何を学んだのか？この時間は、全身全霊を便器に集中して磨き続けます。すると日常生活の中で、1点集中して夢中になることって少ない事に気づきました。意外と他の事に気を配りながら、他の作業をすることが多く、そこで、目の前の1つの事に全身全霊を集中して取り組むようにしました。すると多くの事に気づき、仕事の時間効率も良くなり、本来の力を発揮できるようになりました。便器を磨いているようで、実は自分の精神を磨いている気がします。先日、関学のサッカー部がプロチームに勝ったとのお話を聞かせて頂き、ただサッカーの練習だけしても、技術だけに走ってもダメ、心を磨かないと人間は成長しない、チームは強くなれないと感じています。心を磨くとは、わがままを無くす、役に徹する、他の人に喜んで頂けることをする、見返りを求めない、他者の過ちを許す、信じる等ではないかと今、自問自答して人間力を高めています。お掃除から多くの事を学ばせて頂き、会の益々の繁栄を願っています。ありがとうございました。



◆第141回 三ノ宮街頭掃除

12月26日(水)
本日は8名の方が参加でした。いつもありがとうございます。

<体験感想>

澤野井 健志 さん

今年最後のお掃除に参加させて頂きました。一年はあっという間ですね。先月のことですが、ゴミを拾っている時に後から「お～い。ゴミが落ちてるぞ～」という声が「拾えということかな？」と思い振り返ると、自分がさっき拾った時に、ゴミ袋からこぼしたみたいです。ゴミを拾っているつもりなのに、声をかけてもらわなければ街を余計に汚していたこととなります。これからは、ゴミをこぼさないように、そして後を振り返るようにしようと思えました。そして、今月はゴミ袋の入り口をしっかりと締めて、後ろも時折振り返りながらお掃除を行いました！ちょっとだけ賢くなりました(笑)

●次回開催 西宮神社トイレ掃除 206回
1月20日 日曜日 (毎月 第3日曜日)
西宮神社 正門側 トイレ掃除
受付 7:45～
時間 8:00～10:00ごろ



●次回開催 三ノ宮街頭掃除 142回
1月23日 水曜日 (毎月 第4水曜日)
受付 5:45～ 時間 6:00～7:00